

# 地方分権改革の旗手会議（令和2年度第二回）の概要

【日 時】 令和3年3月4日（木）14:00~15:30

【開催方法】 オンライン開催

【参加者】 全体講義：26名

グループディスカッション：23名

- 全体講義（内閣府からの説明）とグループディスカッションの2部構成。
- 全体で90分と集中して実施。
- グループディスカッションでは、令和3年提案募集に向けて、旗手同士及び内閣府職員とで活発な意見交換・議論を実施。

## ●地方分権改革推進室からの説明

令和3年提案募集のスケジュールや重点募集テーマ、最近の地方支援の取組みの説明について説明しました。

また、旗手から提供いただいた庁内周知の独自の工夫について照会しました。



【挨拶を行う宮地室長】



【講義を行う加藤参事官と、実際の会議の様子】



## ●グループディスカッションの主な発言など

5名ごとのグループに分かれて、提案の集め方、育て方をテーマに意見交換を行いました。



【グループディスカッションの様子】

### テーマと主な発言

#### 【テーマ①庁内職員からの提案の種の集め方・育て方について】

- ・内閣府による提案募集の開始より前から庁内募集を始め、内閣府への相談の期間を長めに取っている。
- ・提案の磨き上げについては、内閣府の方に、かなり協力いただけるとのことと頼りにしている。
- ・早期共同提案を活用して2提案出せた。よい取組と思う。 など

#### 【テーマ②】現場からの声を的確に集める方法・工夫について

- ・実際に支障が出てくる部署は限られている。提案実績のある部署は、住民に対するアンテナを独自で張って集めている。
- ・分権担当課は生の声を聞くことが大切であり、機会をとらえて声を聞いていくよう心掛けたい。 など

### 【参加者の声】

- 短時間で複数団体の取組等に関する情報を得られ、有意義な時間だった。自分が困っている課題や現在考えているテーマについて議論できた面でも良かった。
- 自治体間のヨコのつながりを日頃あまり意識していなかったため、今回、他自治体の実践状況をうかがえて良い機会になった。
- 時間設定が全体で1時間半とちょうどよかった。これくらいの時間設定だと今後も参加しやすい。